

平成26～27年度 文部科学省 委託事業



# 発達障害の可能性のある児童 生徒等に対する早期支援事業



「うながっぱ」は多治見市の  
マスコットキャラクターです。

岐阜県多治見市

# 1. 多治見市について

## ■位置



- ・市制70周年
- ・人口11万3千人
- ・陶磁器・タイル産業
- ・暑い町 (40. 9°C)



小学校13校、中学校8校

# 多治見市教育基本計画

たじみ教育生き活きプラン（後期計画）平成25～29年度

## 子どもの自立「子育ち」 を支える教育

### 4大 教育プラン

習慣向上プロジェクトたじみプラン

親育ち4・3・6・3たじみプラン

子どもの健康・体力づくりたじみプラン

インクルーシブ教育推進たじみプラン

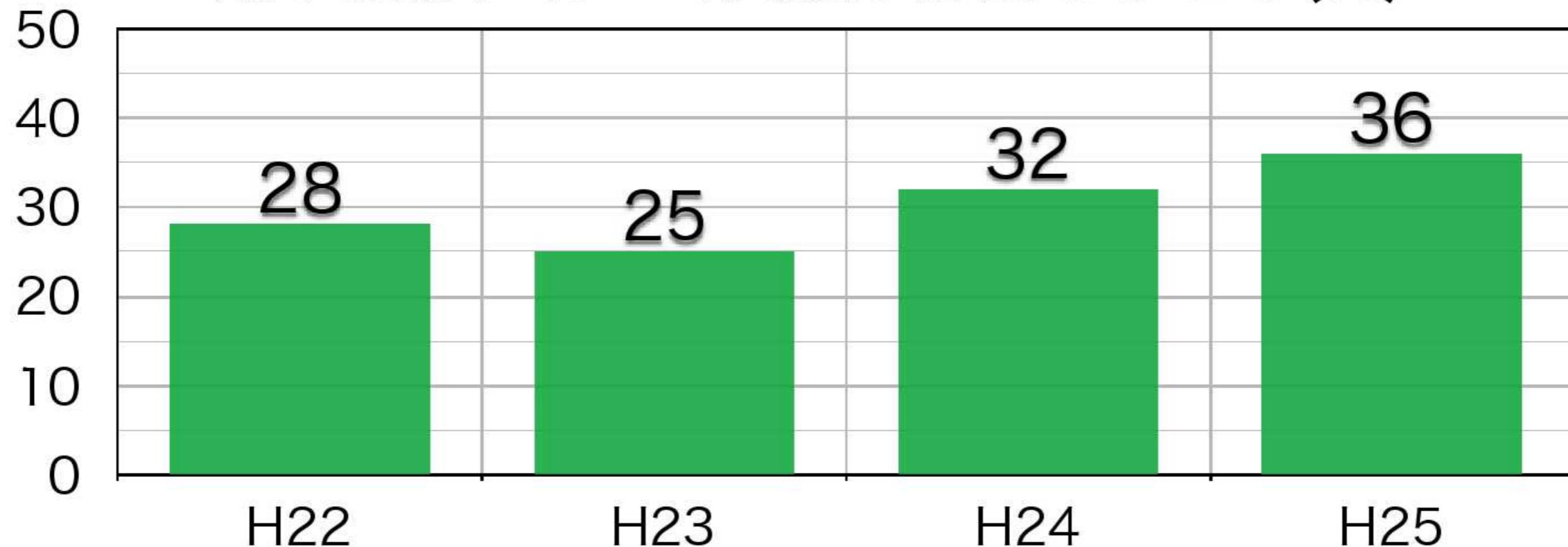
# 多治見市の現状

特別支援学級在籍者の割合が増加

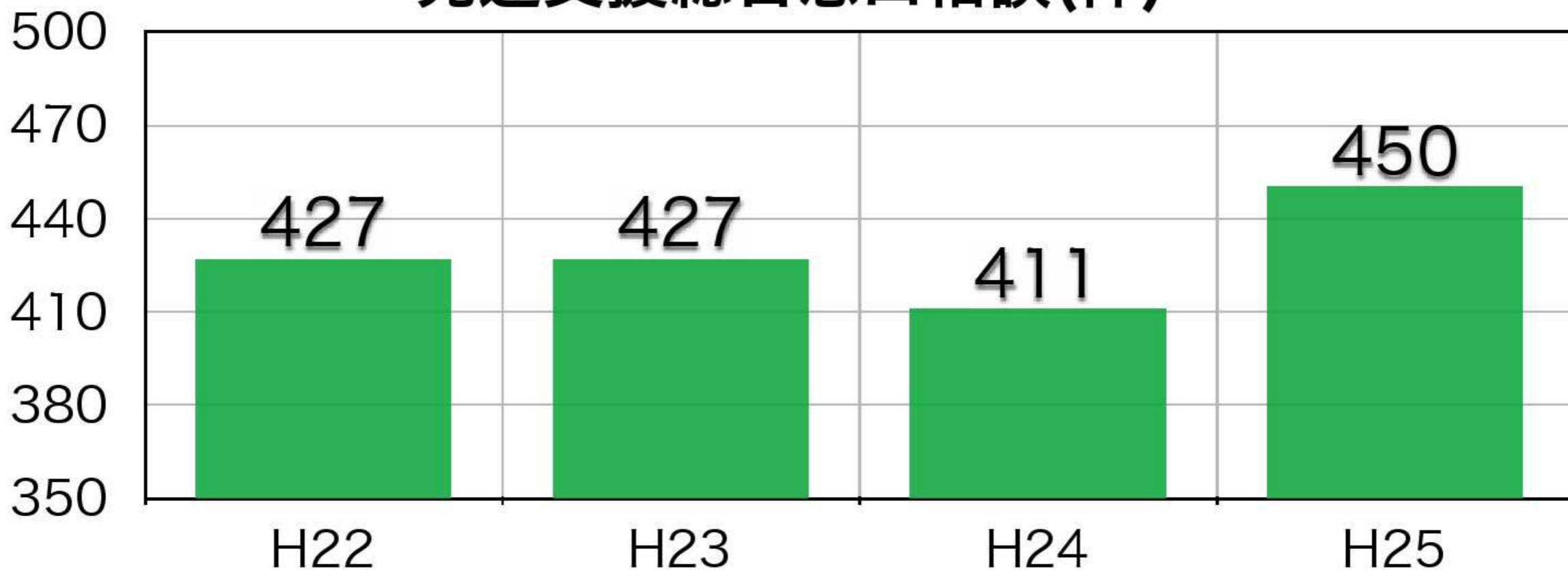


# 保健センター

## 1歳半健診において支援が必要な子ども(%)



## 発達支援総合窓口相談(件)



# 「インクルーシブ教育推進委員会」

H25～26年 合計8回の会議



## 委員

大学教授、専門機関理事、医師、  
団体代表、教員、公募市民

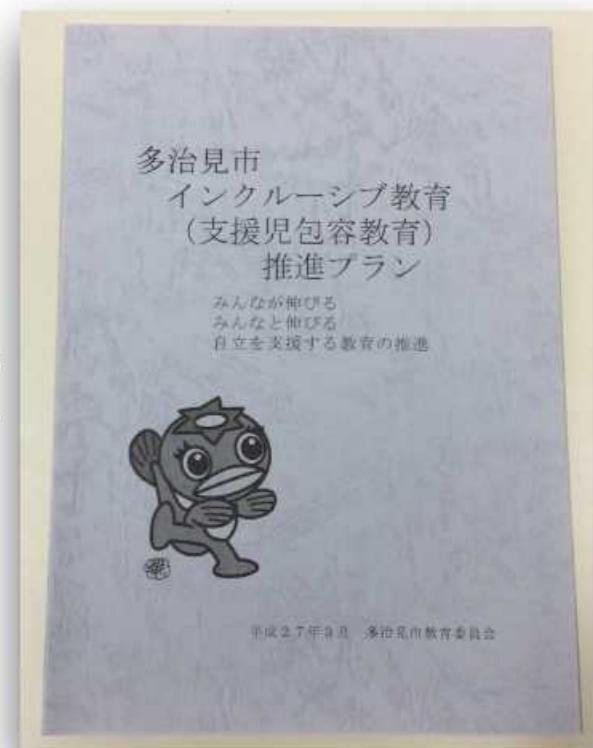
## 事務局

福祉課、保健センター、  
子ども支援課、教育委員会

「インクルーシブ教育推進たじみプラン」の策定

平成27～29年度の3カ年のプラン

委員会は年3回実施→進捗状況の報告



# 「インクルーシブ教育推進たじみプラン」の概要

## みんなが伸びる みんなと伸びる 自立を支援する教育の推進

(2)

園・学校力  
の向上

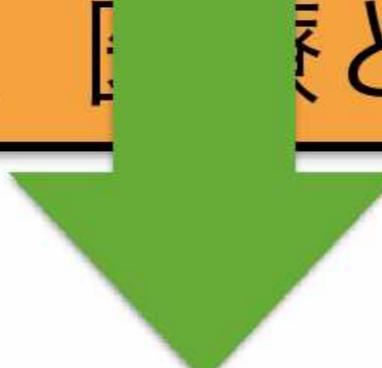
(1)

教育的  
ニーズへの対応

(3)

諸機関との  
連携

福祉、保健、医療と教育の連携



文部科学省の早期支援事業

## 2. 研究テーマ

- ・タブレット端末を活用した通常の学級における効果的な習熟度を上げる学習の在り方
- ・「多治見式脳活学習」を活用した 教育課程外の時間における効果的な補習学習の在り方

## 3. 目的及び目標

小学校

早期発見・早期支援をする  
ことで二次障がいを防ぐ。



中学校

二次障がいを起こしている生徒  
のつまずきの状態を軽減する。



## 4. 教育委員会の取組内容

**タブレット端末を活用した通常の学級における効果的な  
習熟学習の在り方の指導・助言**

**「多治見式脳活学習」についての研修会の実施**

多治見市のインクルーシブ教育システム構築に  
向けた取り組み

- ・次世代フロアによる連携
- ・関係機関の連携による巡回相談
- ・支援の連続を図るたじみスマイルブック
- ・特別支援教育コーディネータ部会の充実

## 5. 研究内容1

タブレット端末を活用した通常の学級における効果的な習熟度を上げる学習の在り方

対象となる児童生徒の**実態把握**

支援方法の決定（タブレット端末を含む）

対象となる児童生徒の**変容の見届け**

支援方法の**見直し**

# (1) 対象児を明確にする

校内委員会

チェック表の活用

CRT検査

漢字や計算の  
テスト

障がいの状態

多治見式  
SE調査

学力

自尊感情

\*SE (self-esteem) とは自尊感情のことである。

# 多治見式SE調査とは

- 一人一人の自尊感情を図る調査
- 小1～小3は27問
- 小4～中3は51問
- 4段階評価で回答  
＊4が「とてもそう思う」



## 質問項目（例）

- わたしは、計算が得意だ。
- 自分には、いいところがある。
- ほめてくれる先生がいる。

## (2) 実践事例

事例1

小学校3年生

算数「□を使った式」

集中力が弱いDくんへの自信をもたせる支援



教室では、離席、大きな声、  
集中できない  
通級指導教室（発達）

Dくん

興味のあることは取り組める

# 単位時間におけるタブレット端末の活用と支援方法

## 既習内容をアプリで反復練習

できたことをほめる。



## 大型モニターで前時の内容を復習

意図的に指名して  
集中させる。



## 本時の内容をアプリで反復練習

ノートで練習問題が早くできたら、  
タブレット端末を使う。

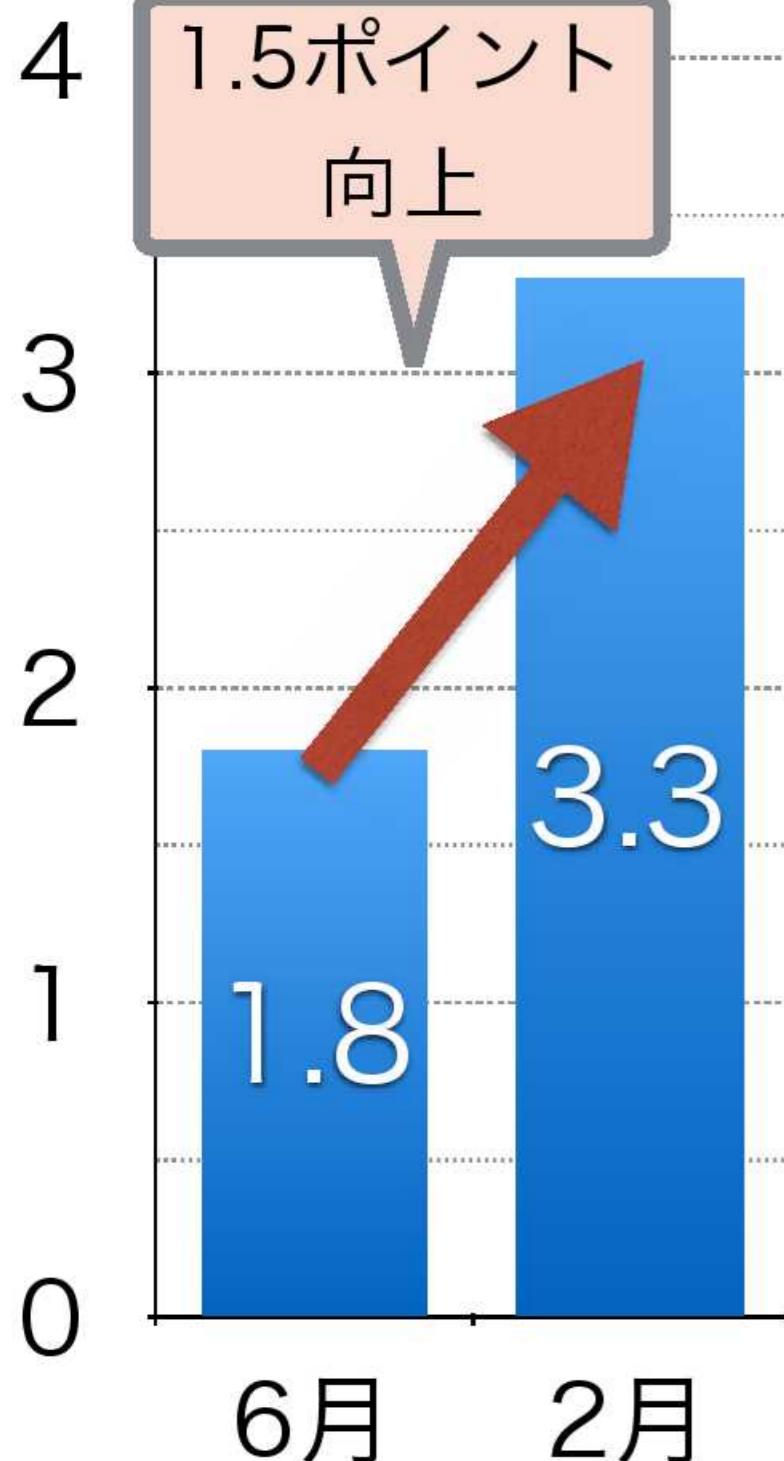


## SE調査の結果から

\*全項目において4点が満点

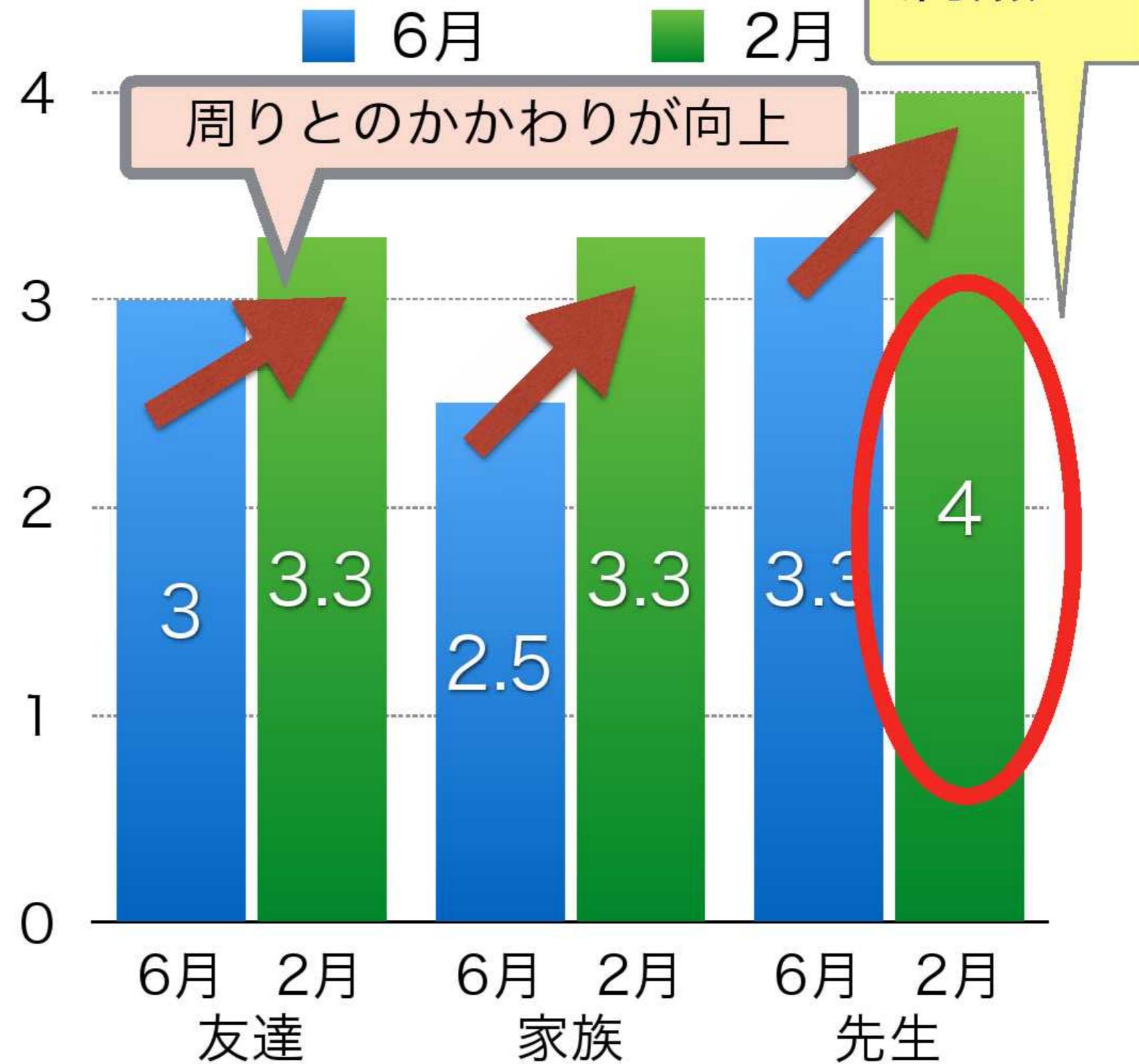
## 自尊感情・自信

市の平均:3.3



## ソーシャルサポート

満点！



# 子どもの変容とその効果

集中して学習ができない

繰り返し

できた達成感

視覚支援

ほめられる

もっとやりたいな

楽しく最後までできた



## 事例2

小学校3年生 算数「かけ算の筆算」

## 学習に対して苦手なEさんへの習熟における支援



Eさん

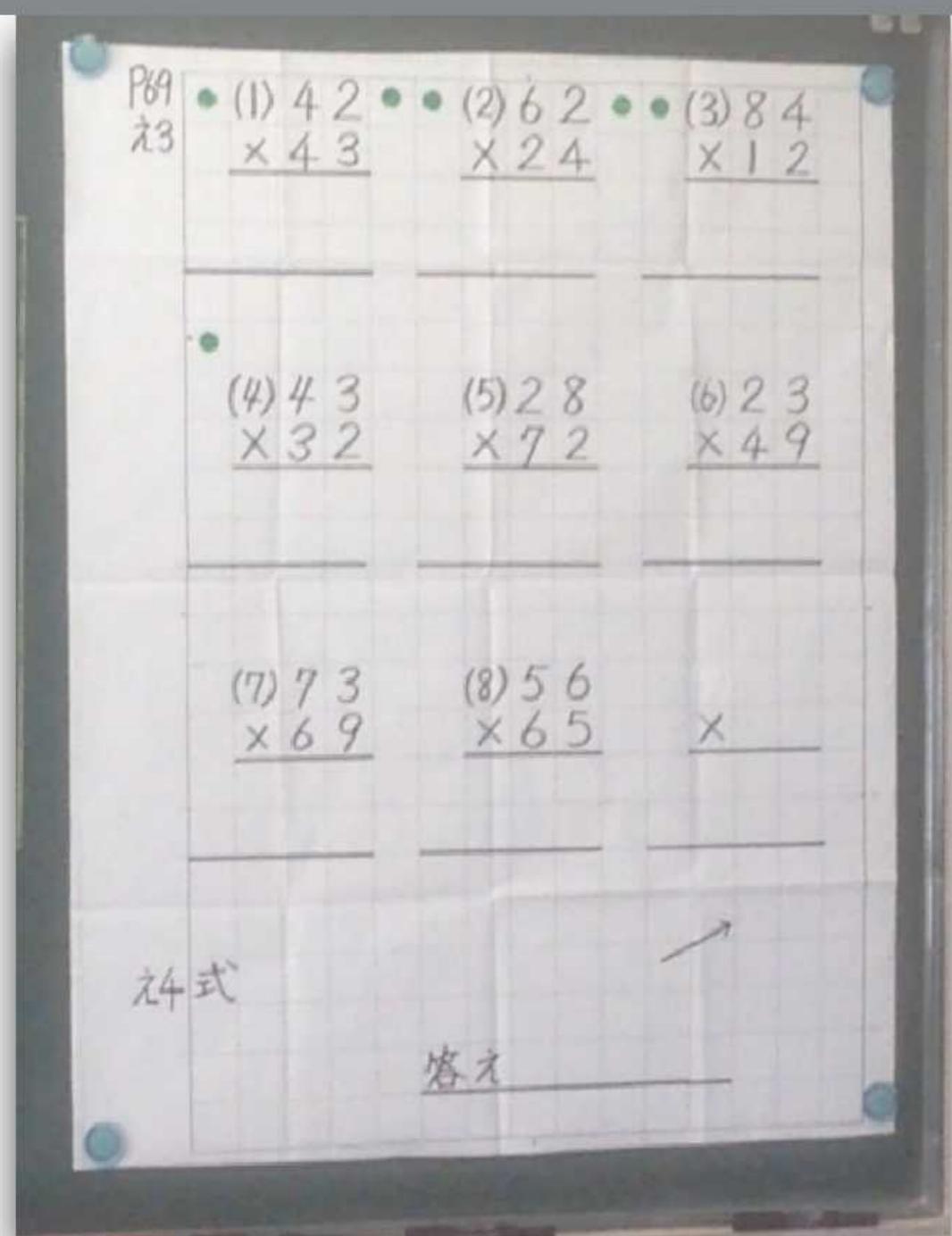
- ・自分の主張が通らない相手とはうまく関われない
- ・覚えることが苦手  
(6、7、8の段の九九)
- ・できないことを周りのせいにする
- ・ドリル学習が苦手

- ・下級生に優しく接することができる

# 単位時間におけるタブレット端末の活用と支援方法

ノートと同じものを使って筆算の書き方を示す。

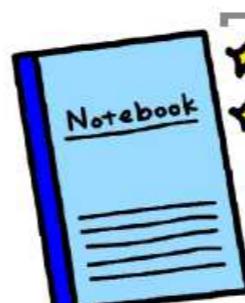
ノートとタブレット端末を併用して



個人で計算の仕方を考える



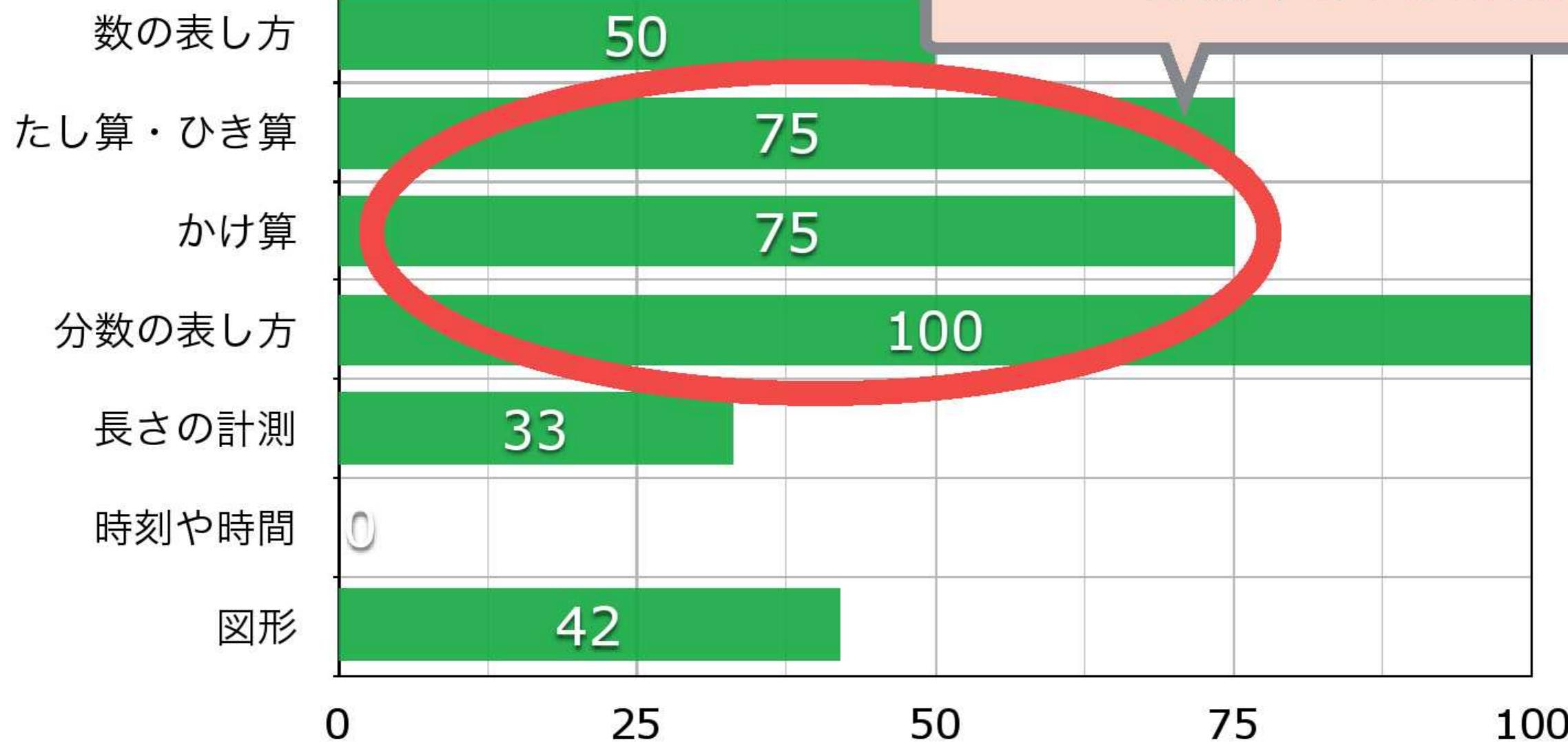
タブレット端末で順に位を入力



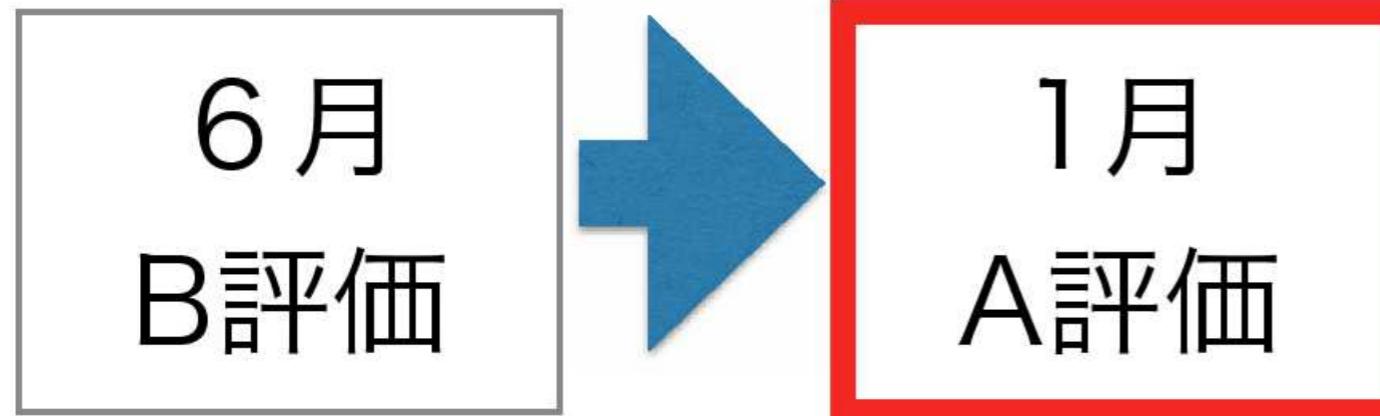
ノートで自分で位を確かめて練習

## CRTテストの結果（1月）

タブレット端末を活用した単元  
得点率が70%以上



算数への関心・意欲・態度



集中する時間の増加  
筆算が得意に

# 子どもの変容とその効果

できないからやりたくない

スモールステップ

即時評価

今日は予習をしたよ

ゆっくり確実にできる

筆算が得意になったよ



## 事例3

小学校4年生

算数「面積」

自己表出が困難なDくんへの大型モニターでの支援

ノートを写すことが  
できることもある



Dくん

人と目を合わせて話すことは苦手

自尊感情は高くはない

場面緘默、自閉症スペクトラムの疑い

# 単位時間におけるタブレット端末の活用と支援方法

## 既習内容のアプリで反復練習



周りもそれぞれやっているため  
緊張が少ない中で練習できる

## 大型モニターで問題提示

わかりやすいし、みんなと  
一緒に画面に集中する

## 大型モニターに書き込んでいく



PDF Compressor Free Version  
SE調査の結果から

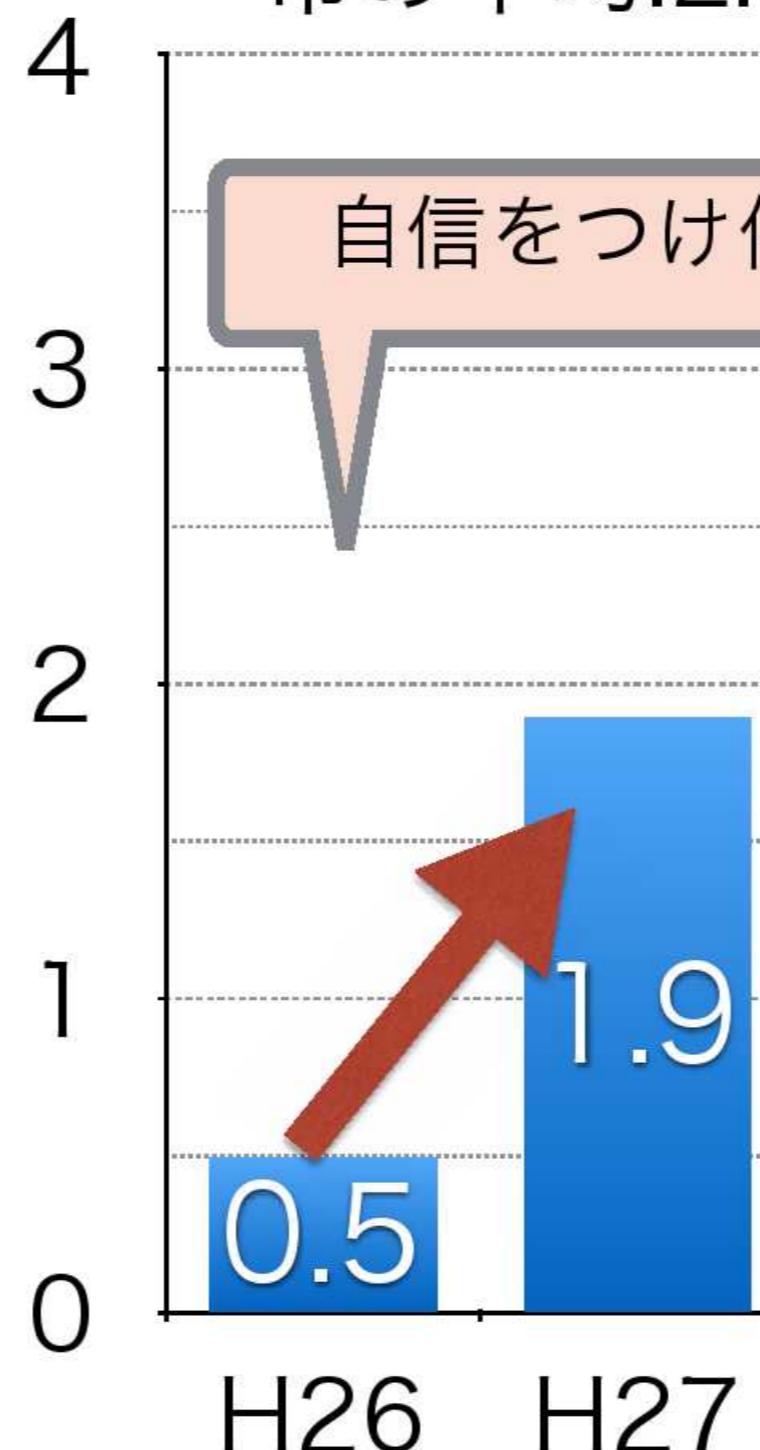
自尊感情

市の平均:2.6



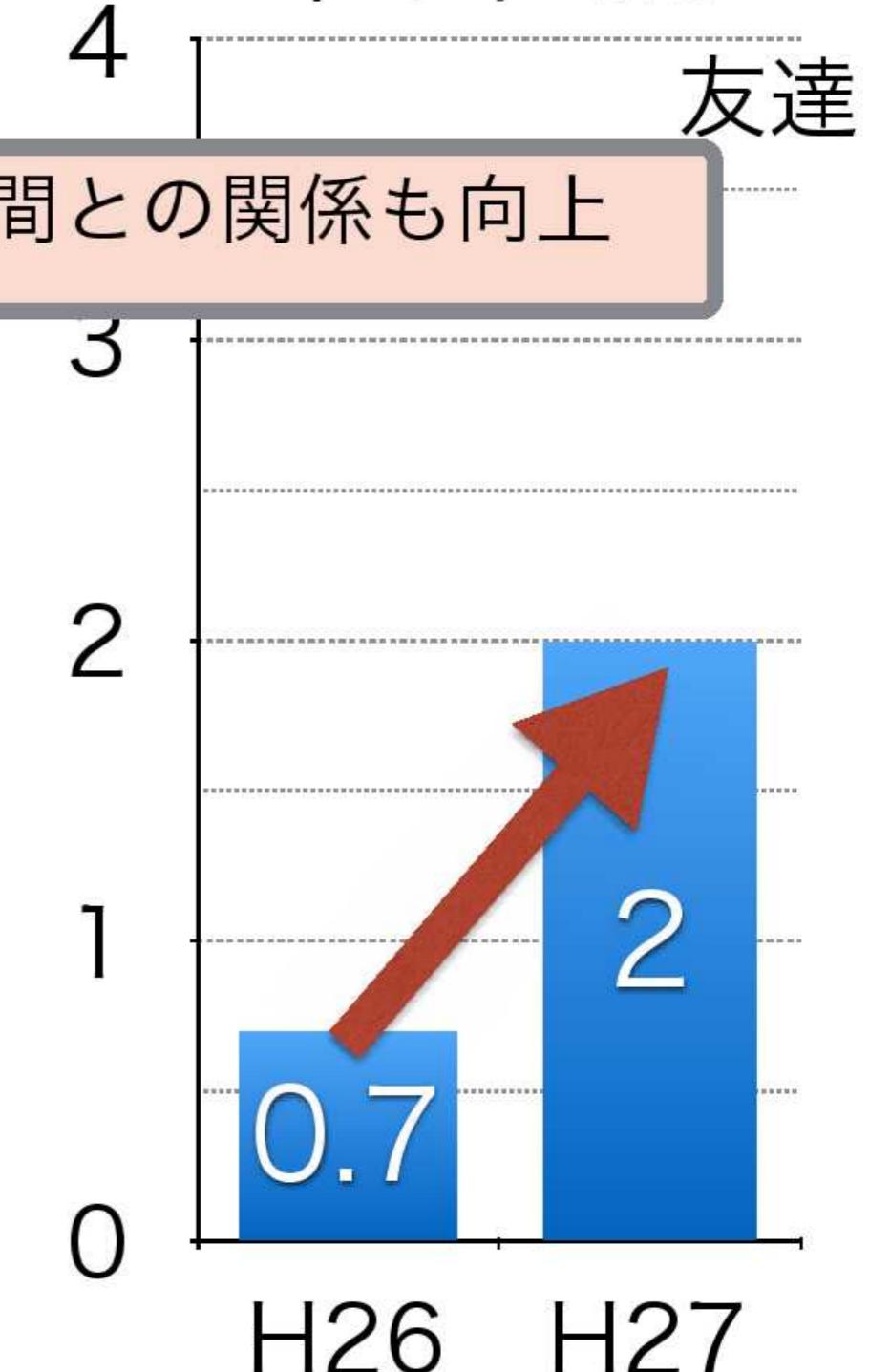
自信

市の平均:2.4



ソーシャルサポート

市の平均:3



# 子どもの変容とその効果



人とかかわることが苦手

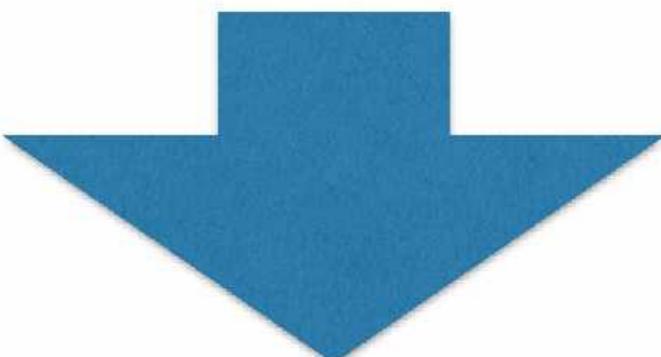


大型モニターを介して

視覚支援

一人で復習

緊張しないで  
安心してできるよ



学習に参加しやすい



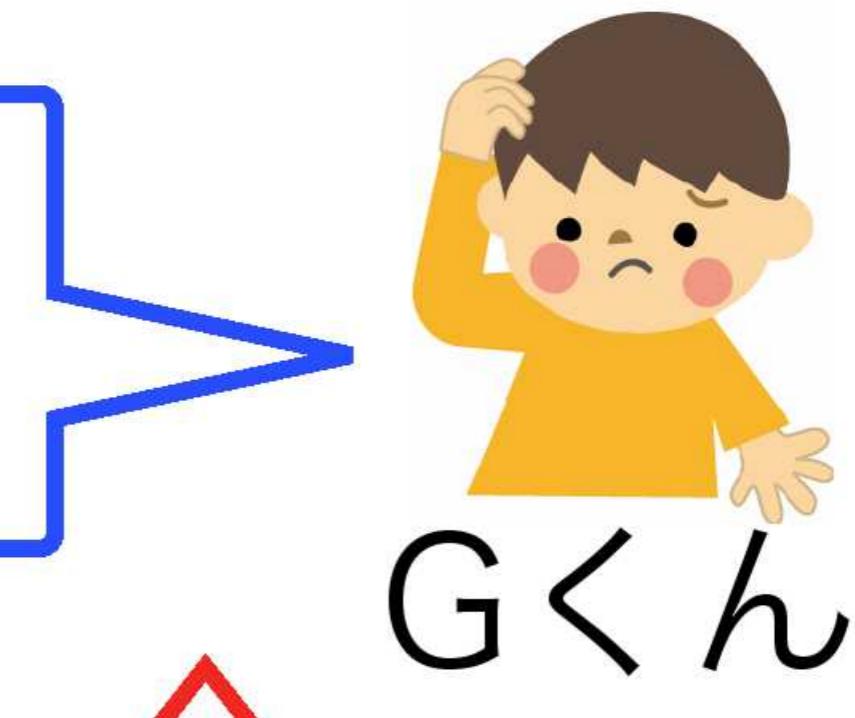
## 事例4

中学校1年生

英語 Lesson7

注意散漫なGくんへの集中を促す支援

学習に対して意欲はある  
家庭学習も頑張る



まわりや音が気になる → 集中できない  
→ 学力がつかない  
英語も努力はするが書けない

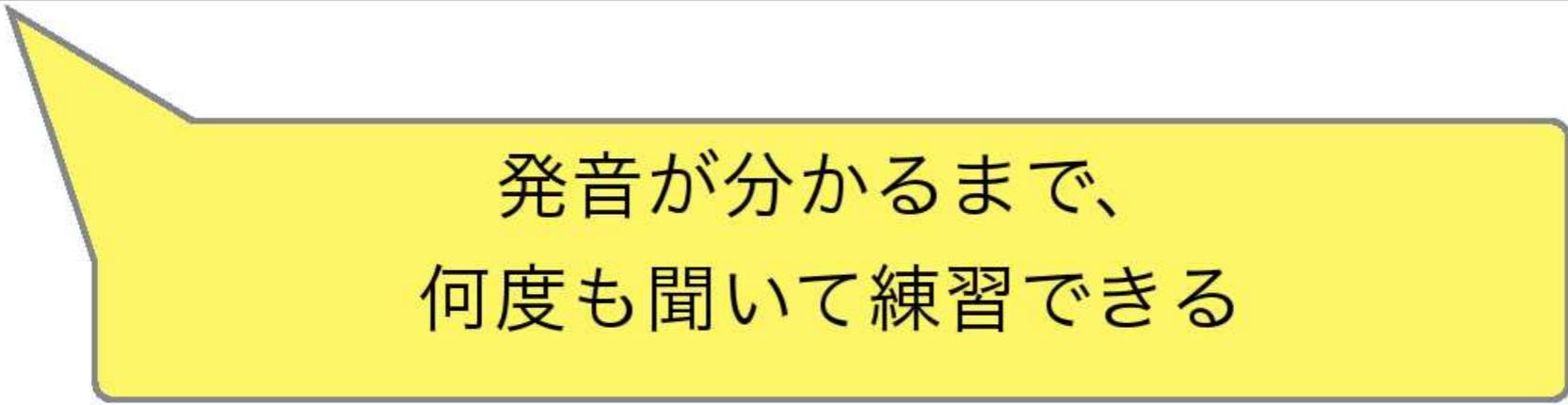
# 単位時間におけるタブレット端末の活用と支援方法

## 単語の発音練習（スキルアップ学習）



英語の発音を繰り返すことで  
慣れさせて自信をもたせる

1人1台でデジタル教科書を使って  
英文の発音練習



発音が分かるまで、  
何度も聞いて練習できる



# 子どもの変容とその効果

集中ができない

繰り返し

聴覚支援

自分のペース

リスニングはできる  
ようになってきたよ

継続してできる

定期テストの結果

14点中  
リスニングが  
10点

- ・リスニングは自信をもって学ぶ
- ・点数が取れないが学習意欲はある
- ・覚えるための支援が必要である



## 事例5

中学校1年生 社会科「北アメリカ州」

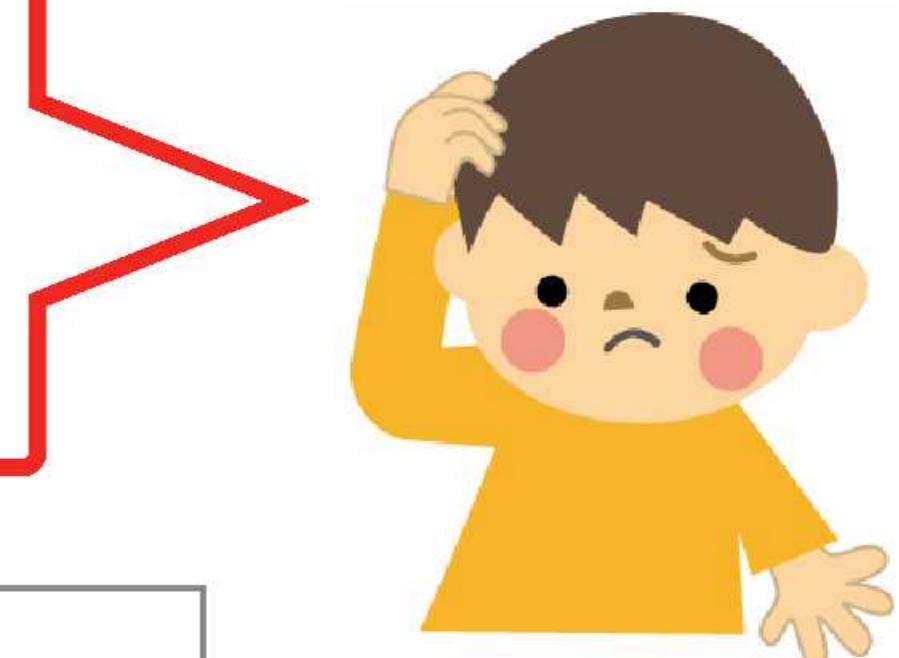
人と関わることが苦手なHくんへの小集団での支援

自閉症スペクトラム

人と関わることも苦手

こだわりがある

- ・ 小学校では不登校傾向
- ・ ノートを全く書かない
- ・ 休み時間にも人と関わらない



Hくん



# 子どもの変容とその効果

対人が苦手



参加できる場

仲間のかかわり

これなら  
取り組めるよ

学習に参加

定期テストの結果  
(社会科)

20点→40点

- ・授業開始前からノートに教科書の内容をまとめる
- ・遅刻はするが、毎日登校
- ・少し表情が柔らかい

### (3) 成果と課題

成果

子どもの状態像

注意力散漫、学習意欲が低い  
学力が遅れている

有効な支援

- 
- ・タブレット端末を1人1台でドリル的学習
  - ・注意力散漫→制限時間内に多くの問題を解く
  - ・学習が苦手→スモールステップで繰り返し練習
  - ・「できた」「わかった」という達成感を味わせる
  - ・ほめる→意欲の持続

成果

子どもの状態像

人と関わることが苦手

有効な支援

- ・タブレット端末をグループに1台で交流
- ・意見まとめ、話し合い→タブレット端末を介して関わり
- ・同じグループの仲間に関わり方について具体的に支援

子どもの状態像に応じて、タブレット端末の活用方法を変えていくことが重要

## 課題

- ・通常の学級の中で必要な生徒だけに活用
- ・教科の目標を達成するために柔軟な活用
- ・事例を多く集め、市内へ広げる

## 6. 研究内容2

# 「多治見式脳活学習」を活用した 教育課程外の時間における効果的な 補習学習の在り方について

### (1) 多治見式脳活学習とは

小1プロブレムの  
軽減のためスタート

子どもたちの実態に合わせて、楽しみながら活動することで、  
集中力アップ・基礎学力の向上・自己肯定感を高める活動

## (3) 脳活学習の5つのポイント

S・R・T

## ①スピード・リズム・タイミング

- スピード→徐々にスピードを上げる
- リズム→リズムに合わせる
- タイミング→成長を的確に捉えてほめる

## ②朝や授業の導入で行う

自由な時間

- ・登園、登校
- ・休み時間



活動の時間

- ・一斉活動
- ・授業



### ③長くても10分

子どもが「もう少しやりたい」と  
思えるぐらいでやめる

### ④遅い子のペースに合わせない

思い切って早い子のペースに合わせる

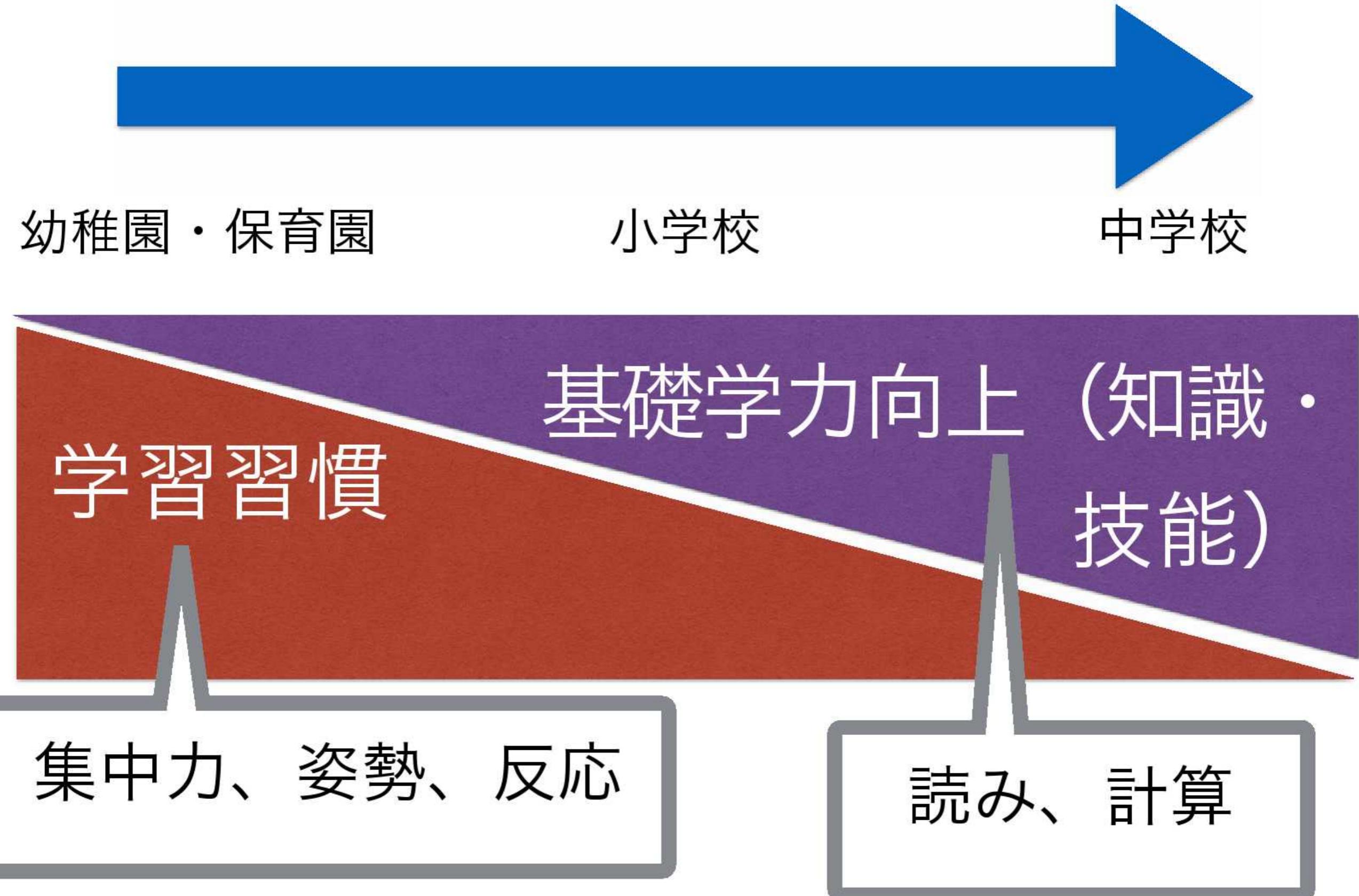


### ⑤子どもは少し難しいことが好き

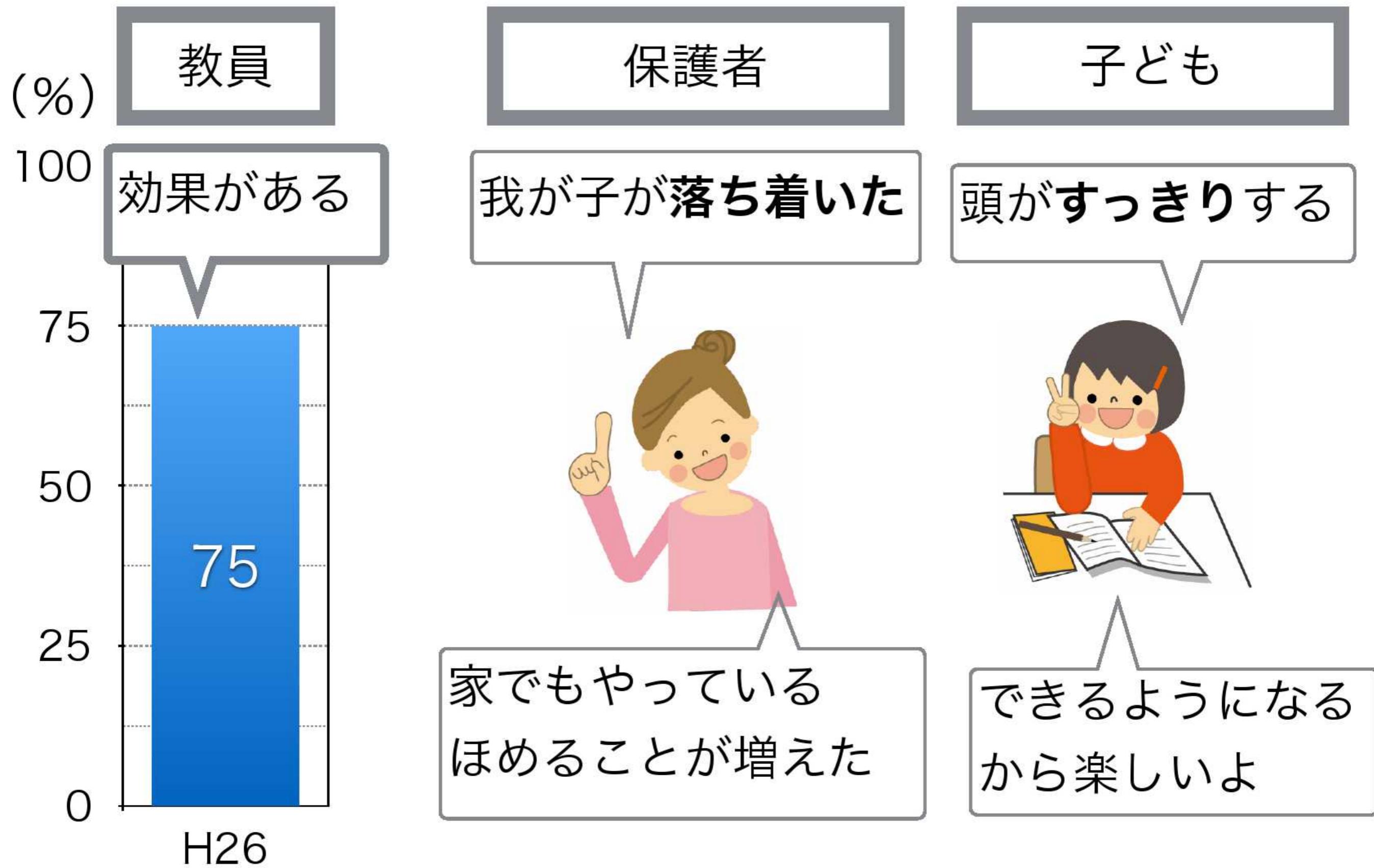
少しの変化を加えて難易度を  
少しづつ上げると意欲が持続する



## (4) 発達の段階に応じた取組



## (5) 成果



## (6) 成果と課題

### 成果

- ・スピード・リズム・タイミング  
→発達障がいの可能性のある子どもが取り組めた
- ・なかなか取り組めない子ども  
→好きなものを素材とした教材を開発
- ・支援が必要な子どもでも取り組む  
→個々の伸びをほめる→自尊感情の高まる

### 課題

- ・発達の段階でつけたい力を具体化
- ・発達障がいの可能性のある子ども→教材を開発

## 7. 市としてのインクルーシブ教育推進の取組

次世代フロアーによる連携

関係機関の連携による巡回相談

支援の連続を図るたじみスマイルブック

特別支援教育コーディネーター部会の充実

次世代フロアによる連携

教育、福祉、保健の連携

## 子育てに関することは 駅北庁舎3階へ



子ども支援課



親子広場



保健センター

- ・複数で相談対応
- ・情報の共有化



教育委員会

# 関係機関の連携による巡回相談

## 新しい就学先決定の流れ

子ども困難さの把握

園内・校内就学指導委員会

巡回相談の活用

園内・校内就学指導委員会

市教育委員会

諮詢

就学等支援委員会

答申

市教育委員会

判定の通知

園・学校

就学先の判定  
支援方法

就学先の決定

子どもの実態から就学先と支援方法の助言

# 巡回相談

有識者で  
専門家チームを組織

医師（小児科医）

特別支援学校地域支援センター

発達支援センター

保健師（保健センター）

子ども支援課

小中学校教諭（特別支援担当）

医師と連携

医療につなげる

支援チームが  
園や学校を訪問



実施人数（人）

平成26年度

260人

平成27年度

275人

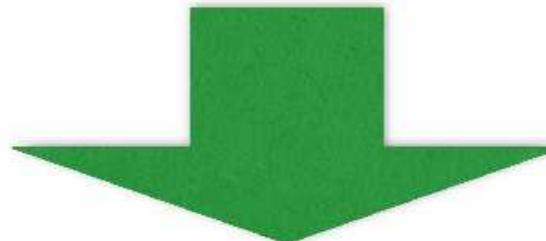
- ・子どもを見る
- ・様子をよく聞く

# 支援の連続を図るたじみスマイルブック

## たじみスマイルブック

困難さのある子どもの保護者

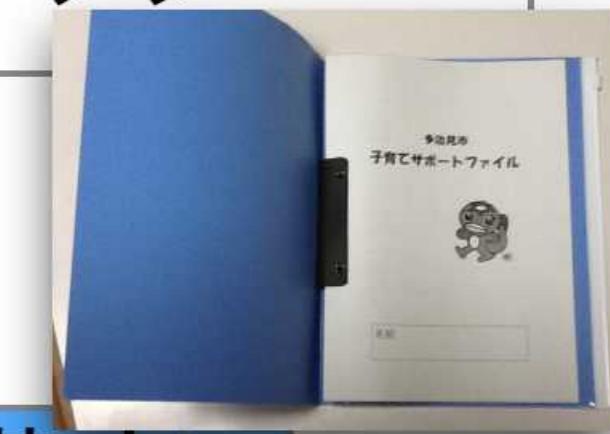
プロフィールブックの作成開始



関係機関へ提示、子どもの困難さや支援

保護者、関係者による引き継ぎ会を実施

支援の連続を図るためのツール



# 特別支援教育コーディネーター部会の充実

## 特別支援教育コーディネーター部会

情報交流

研修

事務連絡

### 部員

- ・顧問校長
- ・特別支援教育加配教頭
- ・特別支援教育主幹教諭
- ・小中学校特別支援教育コーディネーター
- ・公私立 幼稚園 特別支援教育コーディネーター
- ・公私立 保育園 特別支援教育コーディネーター

合計50名

## 8. 成果と課題

### 成果

- ・子どもの状態像に応じたタブレット端末の活用で学習意欲が向上
- ・「多治見式脳活学習」の取り組みで発達障がいの可能性のある児童生徒の学習習慣の向上
- ・次世代フロアーとなり連携が強化
- ・巡回相談で、園や学校の支援が充実

## 課題

- ・実践事例を増やし、タブレット端末を活用した支援方法の充実
- ・学びの多様性を認め支援していくような支援体制
- ・巡回相談で医療との連携の強化



## 今後の市の取り組み

- ・タブレット端末のさらなる導入
- ・事例を市内へ広げる（指定校の継続）
  - ・巡回相談の機能の拡充
  - ・委員会を継続し意見の聴取

# ご清聴ありがとうございました。



早期支援事業のおかげで  
本市のインクルーシブ教育の推進に